



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE
 503 Shinsaibashi Urbanite
 1-5-12 Nishi-Shinsaibashi Chuo-ku
 OSAKA 542 JAPAN

NOVEMBER 1996. No. 5
 The Service Club to the YMCA
 Chartered September 25, 1982

MOTTO (1996~1997)

- I P "Learn Implement Impart" 「学びと奉仕と分かち合い」
- A P "Restoring the Creation Order of God" 「天地の調和を取り戻そう」
- R D "New Regions and Forward" 「新リジョン! さあ前進!」
- D G "Y's First"
- C P 「進んで参画しよう。」

= 月間強調テーマ: 「B F · E F」 =

= 11月の聖句 =

ユダヤ人に対しては、ユダヤ人のようになり
 ました。ユダヤ人を得るためです。律法に支配
 されている人に対しては、わたし自身はそうで
 はないのですが、律法に支配されている人のよ
 うになりました。律法に支配されている人を得
 るためです。

(コリントの信徒への手紙1 9章 20節)

= 11月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

長瀬君 5日 山村君 6日 栗山君 8日
 池永(洋)君 10日 掛江 マネト 27日

= 11月第2例会 =

日時: 1996年11月27日(水) 6:30-8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

11月第1例会

日時: 1996年11月20日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.
 場所: 大阪グランドホテル

司会: 山村 幸明 君

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 栗山 佳三 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. 聖 句 朗 読 | 田中 穰二 君 |
| 4. ゲ ス ト 紹 介 | 栗山 佳三 会長 |
| 5. 入会式(池永洋宣君) | 栗山 佳三 会長 |
| 6. 日々の糧及び黙 禱 | — 同 |
| 7. 晩 餐 | — 同 |
| 8. 卓 話: | |

「いま、考古学が面白い」

桜井市教育委員会 社会教育課

文化財係 係長 清水 眞一 氏

- | | |
|-------------------------|----------|
| 9. お 誕 生 日 祝 い | — 同 |
| 10. ニコニコ 献 金 | ドライバ- |
| 11. 役員会・委員会報告・YMCA ニュース | |
| 12. 閉 会 点 鐘 | 栗山 佳三 会長 |

10月在籍者	10月 出席者		10月出席率	B Fポイント
27名			66.7%	10月分切手 511 gr.
広義会員	メン	第1期 18名 第2期 9名	(マイキップ給)	現金 3,500 円
0名	メネット	7名 0名	前月出席率	本年累計
合計	コメット	0名 0名	修正 - %	切手 3,028 gr.
27名	ビジター	2名 0名		現金 22,200 円
	ゲスト	2名 1名		(別冊"10月BF給"をこまめに)
	合 計	29名 10名		

役員

会 長: 栗山 佳三
 副会長: 秋月 利英
 " : 山田 孝彦
 書 記: 三浦 直之
 " : 藤原 正巳
 会 計: 津田葉清政

◎9月ニコニコ献金
 23,000円

◎11月第1例会当番: (第3班) 田中君, 山村君, 三浦君, 坂本君, 平田君, 川越君

《 今月の聖句によせて 》

ある宗教学者が、インドでベートーベンの第9シンフォニーをテープで聞いていた時、自分の聞き方は、自分の好きな美空ひばりの演歌の聞き方と寸分ちがわらないのではないかと、自分の第9シンフォニーの聞き方が、西欧人のそれとは決定的に異っているのではないかという思いが、まるで啓示のようにひらめいたという。

日本にキリスト教が入ってから可成りの年月が経っているが、日本人がキリスト教だと思っているものは、実は日本教であり、日本のキリスト者は日本教キリスト派ではないかという人もある。

ところで、日本人にキリスト教を真に理解することが可能なのかについては、いろいろな意見があるが、自分が日本人の体にあわない洋服（キリスト教）をいかに仕立て直すかに苦闘したのが、先日天に召された作家遠藤周作氏であることはよく知られている。

本月の聖句にあるように、日本人に対して日本人らしいキリスト教とは何かを考えてみてよいのではないかと、思う。

(聖句撰・解説： 田中 穰二)

＝ 10月第1例会報告＝

(10月16日(木) 6:30-8:30p.m.)

柴田 健

秋も深まり、朝夕は肌寒くなってまいりました。

10月はEMCの月、クラブ拡大強調月間にあたり、クラブ員の方の紹介のゲストも多く、約30数名の集いとなりました。

長瀬由喜子さんの司会でいよいよ開会、栗山会長の点鐘で例会の幕は上った。聖句朗読は谷川寛メン、田中穰二メンの解説にある「弱者へのいたわり、福祉についての項」。次いで栗山会長より、ゲスト紹介。1.大阪西クラブ西村和雄氏、2.大阪河内クラブ箕浦陽子メネット(阪神大震災ハビーの事務局員)、3.三浦メン紹介の藤澤廣之氏、4.山村メン紹介の11月より我がクラブ入会の池永洋宣氏をご紹介される。次いで晚餐に移り、しばし懇談。

いよいよ本日のメインスピーカーは、日本初の女性クラブ、なかのしまウイメンズクラブ会長として注目を集めている杉浦真喜子さん、「“生み”の苦しみと喜び」と題して話された。話は長くなるので、その概略をお伝えすると、まずこの大きな仕事をなすとげられたことに対し、冷静に自己を見ておられ、経過を分析し、何の気負いもなく真摯にお話しになり、感銘を受けた。生みの苦しみは、女性だけのクラブという初めての試みに、いかにしてメンバーを集めるか、という



(「生み」の苦しみと喜びを綴る話され杉浦真喜子会長)

こと、目的意識をもつことが大切、ワイズはYMC Aをサポートする等を説明しても、女性クラブの姿は定まらず、時間がかかったこと、Key Memberが必要と感じたこと、最初杉浦さん一人であり、他クラブの女性メンバーを誘うのは、女性メンバーはどのクラブでも大切にされているので、勇気がある、また誘いにくいことなど。また女性クラブ設立迄の全貌を解りやすくするため、設立経過を説明、94年9月より集めだし、「なかのしま」と名前をつけて動きだしたこと、阪神大震災を境にして、メンバーの変動があり、退会する人、又亡くなられた方も出たこと、戸田、山地、川木、片岡、松下さん等YMC Aと関連のある方々が頑張ったこと、96年5月頃より増加、会則、役員を決めた。山地さん、ミャンマーで縫製指導をし、現地の女性を助ける夢のある方で、ミャンマーの女性の自立を助けるという、目的を持ち出したことで、目的意識により友達を誘いやすくなった、姫路グローバルの橋崎さんが10名を越えると早いといわれたが、実際その通りになったなど、またY'sメンバーが誘ってメンバーになる人も多いが、逆にKey Memberがやめると一緒にやめるケースもあったなど設立迄の苦勞と喜びを話され、一人一人を大切にしてくけるクラブにしてゆきたいと述べ、話をしめくられ、センテニアルの歴代会長、幹事、メン、メネットの協力にお礼を述べられスピーチは終る。

次いで新クラブのバナー、センテニアルの3本川に白い野バラをあしらった素晴らしいバナーを披露され拍手がおこる。土佐堀の角館長よりセントラルY'sの尾崎琢磨氏が撮られた設立総会の写真を贈呈される。

次に、西クラブの西村和雄氏より、クラブ10周年行事に対しての当クラブの協力にお礼を述べられる。河内クラブのメネット「阪神大震災ハビーの事務局員」箕浦陽子さんより、川越さんの代理として視覚障害者へのボランティア活動に当クラブよりの援助に対してお礼を述べられ、阪神大震災の視覚障害者に関するレポート冊子を頂く。(次頁へ)

(顔より撮)

そして誕生日お祝い、ニコニコと続き、栗山会長より行事に関する報告あり。(行事に関しては、第2例会報告ほか別掲記事あり、省略する)。

以上充実した内容のEMCの月にふさわしい前途洋のなかのしまウイメンズクラブを祝福する例会で、8:30P.M.栗山会長の閉会の点鐘で幕をとじた。(財)

= 10月第2例会報告 =
(10月23日(木) 6:30-8:30)

書記 三浦直之

1. 池永洋宣君の入会について:
例会には既に3回出席されているので、役員会として入会を承認する。11月第1例会にて入会式を行う。
2. 11月第1例会(BF・EF)プログラム:別掲の通り。
(ゲストスピーカーの清水氏は、黒田君のご紹介)
3. 中西部新年会について:
日時:1月18日(土) 14:00-17:00
場所:大阪YMCA会館ホール 会費:4,000円
ホスト:大阪クラブ、実行委員長:中川健蔵君。
○ 会長より報告と出席の要請があった。
4. 12月クリスマス合同例会プログラムについて:
12月18日(水)大阪グランドホテルにて「なかのしま」「セントラル」両クラブと当クラブの合同で開催。
会費は前年同様(メン:¥6,000,メネット:¥5,000
コメント:中学生以上:¥5,000,小学生以下:無料)
「みんなで歌おう」2曲のほかにはコーラスをする。
オークション(1,000円以上)、プレゼント交換(1,000円程度)、ピンゴはやめ、それに替わるものをして、景品をホテル側より出して貰う。
第1部は合同例会(メッセージを入れる)、第2部はクリスマス祝会とする。恒例の写真撮影を行う。
詳細は3クラブより実行委員を出し、打合せ。
5. 1月第1例会(IBC)は、第3水曜日が祝日のため、1月22日とし、第2例会を1月29日とする。
6. 1998年BF代表の申込について:
受付締切は11月1日であるが、センチニアルからも積極的に申込をしたいとの意見あり。人選検討中。
7. 関西生命線「外国人のためのお弁当」出版記念パーティが10月26日(土)大阪YMCAにて行われる。
会長より出席の要請あり。
8. YMCA安全の日に関し、Yサより20,000円提出。
9. 神戸YMCA復興募金として25,000円提出する。
10. 河村連絡主事より報告: 昨年12月YMCAリーダーの一人がスキーのリーダートレーニング中、事故で亡くなられたのに因りて、安全基金を設置する(安全トレーニングに充てる)。そのため協力会員に協賛の依頼があるので、よろしくとのこと。(購録)
11. 世界YM/YW合同祈禱週について栗山会長よりアピールがあり、ブレティンに再度掲載する。(購録)

▽ 新入会員 プロフィール ▼

いけなが ひろのぶ
氏名: 池永 洋宣君
生年月日: 1944年 11月 10日
ネット氏名: 池永 美智子(みちこ)さん(1月25日生)
住所: ☎ 565
吹田市五月が丘東8番D-404号
☎ 06-(339)-0816
職業: 公認会計士 税理士
池永公認会計士事務所
(大阪市北区天神橋 2-5-21)
(☎ 06-(357)-7477)
(FAX: 06-(357)-3202)
趣味: 読書
家族構成: 妻、長男、長女、父

= BF 10月度報告 =

(10月度の合計・本年度累計は第1面に掲載)

- 切手提供者: 20名(内無名3名)(購録)
秋月、栗山、坂本、柴田、杉浦、鈴木、隅田、角、田中、谷川、中村、長瀬、福永、藤原、三浦、山田、山村
- 現金提供者: 4名 栗山、杉浦、山田、山村
- ◇ 本月は切手提供者の内3名の無記名者がありました
本報告もって氏名が記載されていない会員は申出下さい。
- ◇折角の提供です。必ず氏名の記入をお忘れなく。
(BF 山村幸明)

◎BF (Brotherhood Fund)ブラザーフッド基金:

以前ビショップ・ファンドと言われていた。国際役員やBF代表が公式の旅をするための資金源として全ワイズメンの参加によって積み立てられる基金。

使用済み郵便切手を集め、整理して、切手市場で換金する方法が主力だったが、次第に現金の拠出による貢献が増えてきた。切手を有利に換金するために奉仕する専門家のワイズメンをフィラテリスト、またこの資金の支出面を担当する委員会をBFEC(エクスペンディチャ・コミティ)という。

◎EF (Endowment Fund) 信託基金:

国際ワイズダム発展のための特別な資金。記念すべき出来事・行事または個人の慶弔事などの折に、しかるべき額(US \$ 100以上)の寄付金を国際協会に送って積み立てる。基金評議会が管理し、その果実を運用する。寄付者名とその記念事項は国際が永久保管する「ゴールドブック」に記帳される。国際にこの基金の推進委員会が設けられており、日本区ではBF事業主任がその推進を兼務する。(採録) "Handbook & Membership Roster 1996-1997"より 購



(すがすがしい野バラをあしらった新しい「なかのしまクラブ」のバナー)

《「なかのしま」10月例会報告》

保田 圭子

設立総会を終え、ますます気持ちもり上がった10月例会。参加者もメンバー16名、ゲスト2名、センチニアルよりの応援団6名と数の上でも、賑やかになり、クラブの“例会”という姿が整ってきたことを感じました。

まず、ゲストのEMC事業主任の鉄谷明さんから挨拶とメッセージを頂き、続いて、YMC A連絡主事の角正信さんから、挨拶やお話を伺いました。まだまだY'sについて知らないことばかりで、EMCって何だったっけ？ 連絡主事って？ と、あちこちでコソコソ質問が交わされたりして、ちょっと失礼致しました。

設立総会は、全面的にセンチニアルクラブにお世話になりましたが、2月に予定されている、チャーターナイトといわれる加盟認証状伝達式は、私たち「なかのしまクラブ」で計画、実行しなければなりません。そのため、先月準備委員なるものが決められました。

食事のあとは、その準備委員による、準備計画の報告。チャーターナイトのプログラム内容、パンフレット、記念品について、それぞれの準備状況が話され、より「なかのしま」らしくできるよう、みんなで頭をひねりました。大筋が承認され、あとの具体的なことは、又、準備委員に託されましたが、なるべく「お金をかけず、手をかけて、オシャレに……」がモットーになりそうです。

クラブとして一人立ちのために、一步一步すすみつつあることを実感した10月例会でした。

*のぼら-野薔薇……

野生の「ばら」の総称。「のいばら(野茨)」の別称。バラ科の落葉灌木。高さ約2米。茎・枝にとげがあり、葉は羽状複葉で各小葉は楕円形で鋸歯があり、互生。初夏、白色の花を開く。香水の原料。果実(純糖)は「苺実」と称し、利尿薬用。(「新編園芸」(図鑑)より)

▽ (情報) ▼
ブラザー・クラブ便り

谷川 寛

香港ボヘミア・クラブのブレティンによりますと、同クラブの18周年の記念行事が、去る10月10日に開かれたそうです。

ブレティンは、これを“18TH ANNIVERSARY OUTDOOR ACTIVITY DAY OF BAUHINIA CLUB”と書いています。

現在の会長 KATHY LEUNG さんには、後ればせながらお祝いのメッセージを贈りました。

この記事の下には、次のような言葉と絵が載っていました。

紫荆社社慶
邁向十八週年



“関西生命線「外国人のためのお弁当」
出版記念パーティ” に出席して

福永嘉彦

標記パーティが10月26日(土)午後6時より大阪YMCA 会館10階チャペルで、約60名が参集して開かれました。

パーティは、尾崎琢磨氏(大阪セントラルクラブ)の懇切丁寧な司会で終始しましたが、まず第1部で関西生命線代表の伊藤みどりさんが挨拶をされました。

伊藤さんは1990年に初めて母国語(台湾語、北京語)による電話相談を設置し、今日まで色々な経験をされ、日本に来る外国人が、カルチャーショックを受けて、精神的に大きな負担になってきていることを痛感されたのであります。その中で子供が学校に持っていくお弁当のことは、身近に感じる一つの問題でした。

日本のお弁当の習慣がない母親にとっては、どのようなお弁当を作ったらよいか問題になるのです。そこで愛情のこもったお弁当を通じて、親子のコミュニケーションが始まり、絆が深められることを考えながら、この本が作られたということです。

そのようなわけで、この本が日・漢・英の国語で出版されたことは、大きな意義があり、祝辞を述べられた増成恒哉大阪YMCA総主事、市川忠彦大阪教会牧師並に鄭國勝台湾IMC社長がそれぞれ賞賛されていました。

特に、この本の出版に協力された方々のまことに奇しき出会いによるお交わりがあって初めて完成したことが、それらの方々から話され、まさに人の出会いと交わりの如何に大切であるかを痛感しました。また、それにも況して、伊藤みどりさんの強い意志と、“国際理解はまず相手の文化を理解することから始まる”ということに基いた理念を教えられました。

協力者の方々に花束が贈られ、軽食を頂きながら交流の時を持ち、予定より30分も超過して漸く有意義な感銘深いパーティを終えたのであります。

= インフォメーション =

中村 幸枝

○メネット資金のための小さなバザーについて

9月例会に鈴木メネットよりご提案頂きまして、早速10月例会に小さなバザーを致しました。手作りケーキ3種類10点が出ておりました。

献品や手作りのお品をご提供下さる方も、買って下さる方も無理のないようにして頂いて、楽しく続けられたらと思っております。

○「なかのしま」チャーターナイト用手芸について

10月19日(土)、坂本メネットの事務所をお借り致しまして、山地さんより手ほどきを受けました。ステンシルとししゅうを組み合わせたもので趣のある作品になりそうです。山地さんにはミャンマーの若い女性たちの現状や、日本ではあり余っているボタンやファスナー、布がとても貴重であり、欲しがっているとのこともお聞きして有意義な土曜日の午後でした。

今回は、11月27日(水)大阪教会をお借りして10時より始めたいと思います。よろしくお願ひ致します。(出席者：山地、鈴木、福永、柴田、隅田、坂本、土佐堀の坂本メネットも途中からご参加頂きました)

---メネットからの贈物---

鈴木 美藤

今夏、カナダの国際大会の一つの特長は、Youth Convocationが併催されたことでした。ワイズ全体が後継の若者に熱心な眼を注いできたことのあらわれでしょう。世界のYouthが146名も集まってきて、成人ワイズの中に入りこんだプログラムもありました。日本ワイズからも14名ものYouthが参加しました。劇期的なことです。近畿のワイズからもたのしい、可愛らしい人々が、中西部、京都部、西部から出ておられました。ワイズのご家庭の子供さん—コメットたちと、YMCAの若いリーダーたちなどの構成でした。過日、中西部会で彼らが顔を見せました。フレデリクトンで出会った北海道の十勝クラブの池田さんのお嬢さんは、アメリカ留学中の人でしたが、将来は伝道者になりたいと人々に訴えていたのには感動しました。身近なところでは土佐堀クラブの牧日望さんの令息2君が出ておられました。

これらのYouth達はYouth Convocationに出たことが将来いつか、何か自分自身の方向を打立てる時に必ず役立つようなものをつかむのではないかと思うと楽しい限りです。

わがクラブにも今すぐではなくても、そのうちにきっとワイズのYouthになって、みんなが楽しみ喜ばれる候補者が何人か居られるのに気付きます。例へば、中村圭、舞姉妹とか坂本拓也君(ちょっと未だ小

さいかな)、その他、現に15才—25才のコメットさん、孫コメットさん達をこの方面に登場させて下さると良いと思ひますが如何でしょうか。

Youth Activity以外にYEEPの候補者を育てる努力もしたら面白いと思ひますが如何でしょうか。センチニアルにはしたら良いことが沢山ありそうで楽しみです。

Afternoon Tea

教会の古いリードオルガンの復活

福永 滋子

最近感動したお話を一つ。

大正9年大阪教会が建てられた時、聖堂3階のギャラリーに備えつけられたリードオルガンがありました。アメリカのエスティ社製2段鍵盤とペダル(足鍵盤)の堂々たる本格的なリードオルガンです。元は手回しだった様ですが、モーター送風式になり、日曜毎に奏樂が献げられたのですが、私がオルガンを知った頃は途中で手回して送風を助けなければ音が出ない程にこわれかけていた様です。

1976年パイプオルガンが献納されてからは、殆ど弾かれることもなく置かれていましたが、阪神大震災で聖堂の壁が落ちたり、パイプ(飾り)も倒れ、土ほりをかぶってしまいました。このオルガンが今では名器と云われる位貴重な、日本では数少ないものであると聞き驚きました。教会ではこれを元通り手回しに復元しようと云う事になりましたが、今ではオルガンの修復をする所は殆どないという事で、思案してました。ところが、幸い丸—ピアノ・ハーブ社の山田社長のお世話で、山科の森田ピアノ工房にお願いする事になりました。一つ一つの小さな部品まで丁寧に磨かれ、こわれたものは手作りで作直され、穴のあいた空気袋も新しく張り替えられ、飾りのパイプも金色に塗られ、すべて森田さん親子の苦心の賜物ですばらしく復元されています。

今最後の調整中で近く教会に帰って来ます。米年レントの頃お披露目の演奏会がなされる予定です。森田さんの古いものを元通り復元されるあの根気と研究熱心には感動させられました。「日本人は何でも古いものを捨て新しい物に走る」と嘆かれていました。同感!

工房には森田さんが外国で求めた古いピアノを外側はそのまゝに中を新しく作り替え、「これで又50年はすばらしい音を奏でます」と色々なピアノ、オルガン、自動ピアノ等めずらしく楽しませて頂きました。

車の席が一人分空いているからと乗せて頂き、貴重な体験をさせて頂いて感謝して居ります。手回して献げられる奏樂を心待ちしながら、主の御名を讃美いたします。感謝!



Y M C A ニ ュ ー ス



大阪YMCA 河村 実

○YMCAウインターキャンプ募集中

冬休みを利用して、幼少年、ファミリーを対象にYMCAウインターキャンプが12～1月にかけて実施されます。新潟、長野、兵庫県各地でスキーを中心としたプログラムが展開されます。

お問い合わせ、お申込みはお近くのYMCAまで。

○第10回アジアフェロシブスタディツアー ～ミャンマー・ベトナムの人々との交流～

アジア各地の社会奉仕プログラム、交流会に参加することを通じて、社会的現実、開発、教育、文化について学習することを目的としたスタディツアーを実施します。

対象：YMCA会員、学生、および国際交流に関心のある一般市民 15名

期間：1996年12月22日～1997年1月4日

費用：325,000円

問い合わせ：YMCA土佐堀館 国際・社会奉仕センター

☎ 06-441-5598

○大阪YMCA第44回早天祈禱会

早天祈禱会は、日常様々な変化の中にあって、月に一度、早朝のわずかな時間にYMCAに連なる仲間が集い、共に祈る交わりの会です。ぜひご参加ください。

奨励：陳 振華 牧師（中華基督教長老会）

日時：12月20日 午前7時30分～8時30分

会場：大阪YMCA会館 10階チャペル

会費：300円（軽食代）

問い合わせ：YMCA土佐堀館 国際・社会奉仕センター ☎ 06-441-5598

渡辺禎雄聖書版画展

愛と希望をえがく

— 読者の理解 —

去る1月8日に召天された聖書版画家渡辺禎雄氏の聖書版画展を全国で巡回開催を実施します。

大阪では、世界YMCA/YWCA祈禱週プログラムとして、下記の期間に実施します。 ●入場無料

日時：1996年11月11日～16日 10:00～19:00

会場：大阪YMCA会館 903 [11(月)・12日(火)]

大阪南YMCAライブラリー [13(木)～16日(土)]

◇お問い合わせ先—大阪YMCA 06-441-5598

◎「渡辺禎雄聖書版画を語る」

11月11日(月) 16:00～17:00 於 大阪YMCA会館

聖書版画展開催委員会・教団本多記念教会牧師 田添禧雄 先生

=世界YMCA・YWCA合同祈禱週=

-11月10日(日)～11月16日(土)-

YMCAでは、世界にある様々な問題を抱える人々のことを共に思い考え、祈るアピール週間として、毎年11月の第3週に世界YMCA/YWCA合同祈禱週間の時を持ちます。

◎テーマ「見よ、わたしは戸口に立って、たたいて
いる。」（ヨハネ黙示録 3章 14～22節）

○大阪・関西韓国YM/大阪YWCA合同祈禱会

日時：1996年11月11日(月) 6:30～8:30p.m.

会場：大阪YMCA会館 9階 903号室

参加費：無料（席上献金を捧げます）

○第1部 共に祈りましょう

奨励：田添禧雄氏

（日本キリスト教団本多記念教会牧師）

（渡辺禎雄聖書版画展開催委員会委員）

献金先—大阪YMCA ミヤコ女性の自立のための
技術指導プロジェクト。

○第2部 交わりをもちましょう

（軽食を楽しみながらのひとときを）

=「大阪YMCAユースリーダー安全基金」=

（募金ご協力お願い）

○設置趣旨(概要)：1995年12月18日、北YMCAボランティアリーダーであった須本恵子さんは、妙高スキーパークにて、スノーボードプログラム研修中に転倒、同年12月23日召天されました。大阪YMCAにとり大変悲しく、悔しい歴史を再度繰り返す結果となりました。

野外活動プログラムを実施指導している限り起こりうる事柄として、20年前の宇陀川での事故と共に今回の事故も、常に心にとどめ防止に努めねばなりません。

安全基金は、大阪YMCAが今回の事故を風化させず、YMCA活動をその賜物である『いのちの大切さ』を知ることができる活動として継承してゆくために、特に、YMCAの仲間としてキャンプを支えてくれているボランティアリーダーの安全と安全研修のために活用します。また故須本恵子さんとそのご遺族の苦しみと深い悲しみに対し、ご霊前にお見舞いを捧げる趣旨として設置します。

○目標額：1996年度 10,000,000円

○募集方法：協力会員 一口 10,000円 一口以上

○募集期間：第1回 1996年10月22日から11月20日迄

○募金事務所：大阪YMCA法人本部

田中義信、林 正樹 ☎ 06-441-0894

日本区理事通信(11月号)より

1) 今月はBF-EFの日本区強調月間です。

BF活動の最終目的はBF事業の基金を作ることです。最近では、現金の比重が多くなっていますが、もう一度原点に戻って古切手を楽しく集めましょう。また、違った点で親睦も深められます。EF(エンゲウメント・ファンド)は、ワイズダム発展のために支出されるファンドです。各クラブのイベント、個人の記念日などに際し、献金をお願いします。

1 エントリーは100USドル以上となっています。

2) 「ワイズ75周年記念」の記念バッジを製作

ワイズメンズクラブ国際協会は、次年度75周年を迎えます。国際75周年記念委員会では、これを記念して記念バッジを製作し、希望者に有料で配布します。バッジは2種類。Aタイプは記念委員会が製作したもの。Bタイプは97カナダ/U.S.エリア大会ホストコミッティーが製作したものです。いずれも1個30.0円で購入申込みを受け付けます。

11月30日までに、各クラブ単位でAタイプ、Bタイプを明記の上、日本区理事事務局まで、お申込み下さい。(バッジの大きさはいずれも25ミリ)

(バッジのイラストは、第1例会にてご覧下さい。)

3) 第15回韓日ワイズメンズ会議、11月30日にソウルで開催

韓国と日本で相互に開催されてきたワイズメンズ会議が11月30日、12月1日の2日間、ソウルYMCA講堂で開催されます。今年2月に名古屋で開催されたばかりで、年間予定にはなかったものですが、韓国側の要請でこの時期に開催されることになりました。15回を数えるこの会議では、75周年「記念事業」や Youth Activityなどを、議題として、アジア地区で指導的な働きが期待される両国のワイズメンの課題、役割などが協議されます。日本区からは15人程度が参加する予定です。

4) 全国のワイズメンの献金に感謝

例年2月の「CS-TOF」強調月間に全国の多くのクラブがタイム・オブ・ファストを実施していますが、今年は8月にも TOF月間を設定したため各家庭の段階でも「断食の時」を持って頂き、日本区にその献金が届いています。京都キャピタルクラブでは「ファミリーファスト」を実施した結果、40,636円が献金されました。また、継続中の「神戸Y復興募金」も、全国のワイズメンから変わらぬ熱情が届いています。皆様の熱い心に心より感謝申し上げます。

5) 東、西両日本区の設立準備、進む

来年7月から正式に発足する東、西の両日本区の準備委員会がそれぞれ3~4回程度開催され、確実に準備が進んでいます。区事務所は東が現在の東京・日本区事務所に、西が大阪YMCA会館内に設置されることか内定。さらに定款の作成も進められています。また新しい区が設立される前過程で、東西

の特色がはっきりと打ち出されています。全国のワイズメンはぜひ、準備委員会の審議に大きな関心をお寄せ下さい。日本区でも区報等で情報をお伝えします。各クラブ段階でも積極的な論議を期待します。

6) 日本区会計からのお願い

日本区会計へのお振込に感謝します。ご案内のように、今年度の送金はすべて理事事務局があります名古屋の郵便口座にお振込をお願いしております。前年度までの東京の口座は既に閉鎖しておりますので、絶対にご利用しないで下さい。また、今年度当初に各クラブ宛お送りしました「専用振込用紙」がない場合は理事事務局までご請求下さい。

中西部新年会

- 日時：1997年1月18日(土) 14:00~17:00
- 場所：大阪YMCA会館ホール ●会費：4,000円
- PROGRAM:
 - ティーパーティ(メン・メネットの新年の挨拶交換)
 - 各クラブ別の挨拶(ステージにて抱負も含め会長の代表挨拶)
 - アトラクション(中国の伝統楽器演奏)
- ホスト：大阪ワイズメンズクラブ
会長：渡邊藤市郎氏、実行委員長：中川 健蔵氏

阪和部新年合同例会

- 日時：1997年1月15日(祝) 12:30~15:00
- 場所：天王寺東映ホテル 2階 白鳥の間
天王寺区悲田院町8-1(大阪南YMCAすぐ隣)
- 会費：8,000円(メン・メネット共)
- ホスト：大阪サウスワイズメンズクラブ
会長：松本三枝子氏、実行委員長：大岡 伸彦氏

〔個人消息〕

柴田 健メン：
電通社友 4人展に出品
油彩水彩

日時：11月6日(水)
~11月20日(水)
9:00~15:00

[土日祝日：休み]

場所：日債銀大阪支店
1Fロビー
(中央区西心斎橋
1-2-4
大丸向い、
日航ホテル北隣)



◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne're to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

☺ニコニコ・メッセージ☺

◎西ワイズクラブ10周年にはお世話に成りました。
あらためてお礼申し上げます。

・・・大阪西クラブ 西村和雄

◎Best Wishes. ・・・藤澤廣之

◎昨年の震災時に貴クラブより、視覚障害者の方々への支援をいたしましたボランティアグループ「ハッピー」に温いご協力をいただきました。感謝いたします。ありがとうございました。

・・・大阪河内メネット 箕浦陽子

◎杉浦さん、なかのしまの設立の苦労話、感銘深く伺いました。何のお手伝いも出来ませず申訳なく存じます。 ・・・秋月利英

◎杉浦さん、「なかのしま」クラブの設立おめでとうございます。

出席する事を目標にしていますのに、なかなかむずかしく、もう2回も休んでしまいました。皆さんよろしく願います。 ・・・池永栖子

◎ハッピーのレポート完成を感謝して。・・・川越利信

◎杉浦さん、なかのしまクラブ設立おめでとうございませう。今後ともYMCAのサポートよろしく願います。 ・・・河村 実

◎新クラブの設立がいかにかむずかしいものか、よく分かりました。息の長い活動をお祈りいたします。

・・・栗山佳三

◎杉浦さんから、なかのしまクラブを結成するまでのお話を伺ってとても興味深いと思いました。

なかのしまクラブの発展をお祈りしています。

・・・坂本千春

◎杉浦なかのしまクラブ会長の「生みの苦しみと喜びのお話」大変良かったです。バナーも素晴らしいのが出来て前途をお祝います。 ・・・柴田 健・暢子

◎「なかのしま」のことをお話する機会を与えていただき、ありがとうございました。

これからも「なかのしま」への応援をお願いします。 ・・・杉浦真喜子

◎“なかのしま”のバナーとても美しいので、うれしい。 ・・・鈴木謙介・美藤

◎なかのしまY'sウイメンズクラブの誕生おめでとうございませう。どうかこれからバナーのぼらのように社会(YMCA)へ美しさを届けて下さい。

・・・角 正信

◎なかのしまクラブのこれからの活躍をお祈りいたします。 ・・・隅田恵子

◎なかのしまワイズのご発足を心よりおよろこび申し上げます。 ・・・田中稷二

◎杉浦さんのお話、大変すばらしかったと思います。 ・・・谷川 寛

◎なかのしまチャーターまであと一息。頑張れウイメンズ。 ・・・津田葉清政

◎メネット資金の為のケーキ等お買い上げありがとうございます。

野バラのなかのしま、芳香を放って、華やかにご活躍下さい。 ・・・中村幸枝

◎なかのしまクラブに乾杯！ ・・・長瀬由香子

◎杉浦さんが、御苦労のなかに希望の喜びを常に持ち続けておられることに感銘を深くしました。バナーに“野ばら”の新鮮さを覚えます。ご発展を切にお祈りします。 ・・・福永嘉彦・滋子

◎杉浦さん、本当にご苦労様でした。こゝまで来るのは並大抵ではなかったと思います。杉浦さんのご人徳とご手腕の賜物と心より敬服申し上げます。今後益々のご発展を祈念申し上げます。(山田さんの“内助の功”にも併せて感謝申し上げます。)

・・・藤原正巳

◎杉浦会長、設立総会が無事にすみ、おめでとうございませう。今後もセンテニアルと共に歩いていきましょう。 ・・・三浦直之

◎杉浦さん、御苦労様でした。お互に両クラブ発展のために努力しましょう。 ・・・山村幸明

◎杉浦さん、おめでとうございませう。「なかのしまクラブ」の発展をお祈り申し上げます。 ・・・山村利子

〔編集後記〕

“野バラ”といえは、あの「童は見たり、野なかの薔薇。清らに咲ける、その色愛(め)でつ、…」と、シューベルトやヴェルナーのメロディをひとりでに歌いたくなるものです。これは今から87年前の11月に出た『女声唱歌』に近藤朔風の名訳でおめみえして今日まで愛唱されています。われらの「なかのしま」もこの“野バラ”のようにいつまでも多くの人々に愛されるクラブになれるよう、皆さんと共に祈りしましょう。(YF)